

(議長)

次に出崎議員の発言を許可致します。

「出崎議員」

はい。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

私からは2問、質問致します。まず、江差港の整備方針について。

えーJR江差線が無くなった今日、地方港湾、江差港は当町において重要なインフラとなっています。江差港を巡る環境は以下の変化を期待しており、計画的な対応が必要と考えております。

えー例えば、隣接する新しい道の駅事業との連携、サーモン養殖事業ほか、えっ漁業への対応、釣り文化振興モデル事業への対応、洋上風力事業への対応、えー、かい、改正半島振興法における、えー防災支援機能の対応、えー来航する大型客船接岸対応等であります。

そこで以下お伺いします。えー港湾審議会での将来の江差港の在り方に関する議論は、えー現在どのようになっているのでしょうか。

二つ目、えー渡島半島強靱化のために、半島道路網の整備と共に江差港に函館被災地の支援機能整備を北海道開発局に要望する考えはないのでしょうか。

以上、おか、お伺いします。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

えっ出崎議員の1問目、江差港の整備方針についてのご質問にお答え致します。

議員ご指摘の通り、近年、江差港周辺において様々な事業展開が計画され、江差港を取り巻く環境や役割は、単なる物流や産業の拠点から観光強靱化など多様に変化し、変化しており、えー港湾施設の計画的、えっ効率的な、あ、活用が求められております。

1点目の港湾審議会での将来の江差港のあり方に関する議論が、は、どうなっているのかとのご質問でございますが、港湾審議会は毎年開催し、都度、港湾に掛かる、関わる事業などを議題に載せ協議を進めております。

昨年9月に開催した港湾審議会では、新・道の駅の建設や陸上、洋上風力発電事業の進捗状況、釣り文化振興モデル港の指定など、江差港周辺で計画されている事業に関する情

報を提供したほか、令和8年度において、長期構想の見直しに着手することを報告したところであり、今後、関係機関を交え、ゾーニング計画に関する具体的な協議を進めて行く事となっております。

2点目の渡島半島強靱化のため、半島道路網の整備と江差港に函館被災時の支援機能整備を北海道開発局に要望する考えはないかとのご質問でございます。

まず半島道路網の整備につきましては、私もその重要性を認識しており、私が会長を務める函館江差自動車道木古内江差間整備促進協議会で、平成27年の発足以来、要望活動を継続し行っているところでございます。

また、大規模災害、大規模災害を想定した災害支援機能を有する防災拠点の整備につきましては、国を含め広域的な協議の中で計画的な整備が必要であることから、全国半島振興市町村協議会や北海道港湾協会などを通じ、議員ご指摘の半島防災の強化を含め、半島地域が抱える諸課題の解決に向け、要望して参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

えー、さ、再質問させていただきます。

あの、まあ平成14年の3月に一、えー江差、江差港長期構想計画が、あ、策定されております。まあ20年以上前の話ですね。

あの一、1に関しましては、これは、あの一新しい江差港長期構想計画を視野に入れていると言う事でよろしいのでしょうか。見直しをすると言う事ですね。

それから2つ目なんですけど、えー、まっ最近の防災の中ではですね、事前復興計画、これがとても重要視されています。ああ函館が被災した時に、どのような状況になるかと言う事について、あの一、まあ、半島、あっ改正半島振興法ではですね、能登半島地震を、で、見直されたということもあって、えー半島の強靱化、これがずいぶん求められるというふうになっております。

で、私自身もですね、昨年の、あの一函館の防災士会、それから、今年の北海道新聞の、えー懇話会。これも防災を、函館の防災がテーマになってましたんで、ちょっと行ってですね、えー函館が被災した時にどこから支援が来ると思ってるんですかって話を、あの一指摘させて頂いてます。

あの一陸路、太平洋側の港が全部やられたときに、日本海側からですね、えー一番近い江差から函館を支援する、その事前復興計画というものはですね、とても重要だというふうに私は考えているんですが、どうも北海道とか国の視点からもですね、そういう視点がちょっと抜けてるように思っています。

で、これは是非ですね、あの一1番目の関係するんですが、えー江差港の長期構想計画の中で、その視点を取り入れて頂けないかと言う事を思ってるんですが、その辺りの見解をお伺い致します。

「産業振興課長」

産業振興課長。

(議長)

産業振興課長。

「産業振興課長」

えー出崎議員の方から、えー２点に渡って、えー再質問頂きましたのでお答えさせていただきます。

えーまず長期構想計画の、えー部分でございますが、えー議員のご質問、ご指摘ありましたように、えー平成１４年の３月に策定以来、えー見直しがされておられません。

えー今回の長期構想の見直しについては、新しく作るものではなくてですね、えーその１４年当時に、えー策定されたゾーニングの、こういったものの見直しも含めながら、えー改正して行くと言う事を基本に考えてございました。

えー２つ目のご質問でございますが、えー議員の方からは、えー半島強靱化にかん、関するあの一事前復興計画、こういったものを長期構想計画に入れて、入れるべきではないかといったご質問だったと思います。

えー議員ご質問の通りですね、あの一、現在、国の方においてもですね、えー能登半島地震を教訓に、あの広域的な港湾間連携の重要性を再認識し、再認識し、えー被災地の状況や、えー被災、えー地域の地理的条件等によっては、えー地方港湾の、えー活用も必要になることが想定されますことから、えー地方港湾における港湾ＢＣＰ、いわゆる港湾の持続経え、事業継続計画の策定に関する、えー港湾ＢＣＰ策定ガイドラインの改訂版が昨年、公表されたところです。

えー港湾ＢＣＰの策定に当たりましては、えー広域港湾ＢＣＰとの整合性や実効性等に留意しなければならないと言う事になっておりますことから、函館市などを含めた近隣市町さ、村との連携した協議があった、であったり、専門的な分析や調査も必要になってきます。

ただし、まあ長期構想の見直しも、して行く事になりますんで、こう言った事も視野に、あい、あの一、一つ、あの検討の材料にしながら、えー改正の作業を進めて行きたいというふうに考えてますんで、ご理解の程よろしくお願い致します。

(議長)

出崎議員。

「出崎議員」

はい、ありがとうございました。

ちょっと２点目に移りたいと思います。あの人材バンクの整備について。

えー昨年度の決算委員会では技術系職員の欠員が指摘され、えー、ておりましたが、あの、そもそも町レベルの人員数では職員だけで行政サービス全てを担うには、みりが、無理があるというふうに私は、あー考えております。

以前も提案したんですが、えー町在住の有資格者や特殊能力を持つ者をリストアップし、データベース化することで、いざという時に協力して貰う体制を整えることが、行政サービスの向上に有効と考えておりますが、如何でしょうか。

「町長」

議長。

（議長）

町長。

「町長」

出崎議員の2問目、人材バンクの整備についてのご質問にお答え致します。

昨年度の決算委員会において、ご指摘のありました技術系職員の欠員につきましては、本年の4月1日付にて保健師1名、土木技師1名の採用、えー職員を採用したところでございます。

一方、議員ご指摘の通り人口減少が急速に進行する中、将来的には当町においても限られた職員体制だけで多様化、高度化する行政サービスを従来通りに維持す、維持させることは、物理的にも専門的にも困難となる、困難となることも想定されるものでございます。

ご提案を、ご提言を頂き、ております町内在住の有資格者や特殊能力を持つ方々のデータベース化、いわゆる人材バンクにつきましては、行政運営の補完や住民サービスの質の維持、向上を図る上で有効となるものと認識しているところでございます。

また北海道の人材バ、バンク制度につきましては、複数の制度が存在し、その目的や様々な分野に応じて、市町村への人材の派遣などの支援を実施しているところでもあります。

今後につきましては、専門人材の確保や大規模災害時、は、大規模災害発生時などの有事の際の応援など、必要に応じて各関係各課との連携、協議を行った上で、北海道における既存の人材バンク制度の活用や町内における人材バンクの可能性などについても議論を深めて参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

（議長）

出崎議員。

「出崎議員」

まあちょっと、再質問させていただきますけれども、これあの一、人材バンクについては、あの一ネクストイノベーションの方でも、まあちょっと切り口違うんだけれども、あれはあの一、介護だとか老人福祉、そのために、まあそういう人材を、まああの一登録したりなんか、えー出来るような事で検討してるんですがあ。

ちょっと私自身もう少し広くですね、例えば外国語の話せる人が、町内どこにどのくらい居るかとか、それから有資格者、まあ急に、何か緊急の時にですね、介護資格持ってる人が、看護資格とかそういう資格を持ってる方がどの位居るかとかですね、そういう事が

リストアップすることで、いざという時にですね、あの一あたふたし、しないで済むと、言う事を期待したいんですが、まあ、えーなかなか行政がこれを担うと言う事も困難さはあるんでしょうけど、まっその辺、踏み込んだ、えっ何か答弁頂けないかなと思ってるんですが、どうでしょうか。

「総務課長」

総務課長。

（議長）

総務課長。

「総務課長」

はい。えー出崎議員から、あー再質問頂きましたので、私の方からご答弁申し上げます。

あの一、まあ町長答弁にもございましたように、えー北海道ではですね、えー様々な分野において人材バンク制度も、あーございます。

えー市町村で持ってる人材バンクを、あの持ってる所ってというのは、数少ないというふうに聞いてございますけれども、まあ基本的には、この一北海道で持っている人材バンク制度をまず活用をどう考えるかと言う事が大事になって来るのかなと。

で、まあ、今、えー出崎議員からありましたように、えーいざという時の為にですね、まあそういう、うー町内における、そういう有資格者の活用なんかも、まあ今後議論して行きたいなというふうに思ってますのでご理解願います。

（議長）

よろしいですか。はい。

以上で、出崎議員の一般質問を終わります。